

眼をひらく、心をひらく医療

医療経営管理分野 大学院生 永田義毅

心に響く講演をありがとうございました。

勤務医の頃、僕の手を握りながら、笑顔で亡くなっていった患者さん達を思い出しました。

ACP、「あーすればいいんじゃない、こーすればいいんじゃない、プラン建ててよ」は、患者さんの気持ちを代弁するいい言葉だと思いました。勤務医の頃、入院すると同時に、DNARの説明をする若い医師たちをみて、ちょっと心配りが足りないなと感じていました。医療をやらなくていいと同意させるのがACPではないというお言葉はその通りだと思います。

私は、循環器内科医です。現在は、富山県の健診施設に所属して、循環器内科クリニックを担当しています。こんな生き方をしたいという患者さんの思いを受け止めて、なるべく入院させず家で過ごせるように心がけています。知識と智慧を活用して医療を提供していこうと、改めて思いました。

患者さんが、本当の笑顔を見せてくれる医療の大切さを改めて感じる講演でした。ありがとうございました。